

平成 29 年 10 月 4 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 ロ ゼ ッ タ
代 表 者 名 代 表 取 締 役 五 石 順 一
(コード番号：6182)
問 合 せ 先 取 締 役 執 行 社 長 C00 鼓 谷 隆 志
兼 グ ル ー プ 管 理 本 部 長
(TEL. 03-6685-9570)

平成 30 年 2 月 期 第 2 四 半 期 累 計 期 間 (連 結 ・ 個 別)
業 績 予 想 の 修 正 に 関 す る お 知 ら せ

当社は、平成 29 年 4 月 14 日に公表いたしました平成 30 年 2 月 期 第 2 四 半 期 累 計 期 間 の 業 績 予 想 を 下 記 の 通 り 修 正 い た し ま し た の で お 知 ら せ い た し ま す。

記

業 績 予 想 の 修 正 に つ い て

1. 平成 30 年 2 月 期 第 2 四 半 期 (累 計) 連 結 業 績 予 想 数 値 の 修 正 (平 成 29 年 3 月 1 日 ~ 平 成 29 年 8 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	1,105	88	88	47	4.72
今回修正予想 (B)	994	33	33	7	0.79
増減額 (B - A)	△111	△55	△55	△40	—
増減率 (%)	△10.0%	△62.5%	△62.5%	△85.1%	—
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 29 年 2 月 期 第 2 四半期)	851	99	99	58	6.42

(注) 当社は平成 28 年 9 月 1 日付で普通株式 1 株につき 2 株の株式分割を行っております。上記では、平成 29 年 2 月 期 の 期 首 に 当 該 株 式 分 割 が 行 わ れ た と 仮 定 し、1 株 当 た り 四 半 期 純 利 益 を 算 出 し て お り ま す。

2. 平成30年2月期第2四半期（累計）個別業績予想数値の修正（平成29年3月1日～平成29年8月31日）

	売上高	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	488	31	23	2.31
今回修正予想（B）	412	△17	△12	△1.20
増減額（B－A）	△76	△48	△35	－
増減率（％）	△15.6％	－	－	－
（ご参考）前期第2四半期実績 （平成29年2月期第2四半期）	386	123	112	12.26

（注）当社は平成28年9月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。上記では、平成29年2月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算出しております。

修正の理由

弊社グループでは今期より業容拡大のため、製品開発から管理機能までの全般に渡って計画通り先行投資的に費用を大幅に増加させておりますが、平成30年2月期の第2四半期累計期間（平成29年3月1日～平成29年8月31日）においては、増えた費用に対して売上の伸びが計画に追いつかず、結果として前回公表いたしました中間期の業績予想を下回る見込みとなりました。

売上が未達になった原因のひとつは、翻訳業界においてニューラル翻訳(NMT:Neural Machine Translation)技術の実用化により機械翻訳の精度が飛躍的に向上し、従来の想定をはるかに超えて突然かつ急激な産業革命的パラダイムシフトが起こりつつあることも背景となっている可能性があると考えております。

弊社グループでは上半期において、その急激な変化に対応するための抜本的な変革について準備しておりましたが、下半期以降、具体的に新形態の製品・サービスおよびマーケティングとして実行して参ります。詳しくは、平成29年10月13日に開示を予定しております平成30年2月期第2四半期累計期間の決算説明資料でご説明させていただきます。

通期の業績予想につきましては、平成29年4月14日に公表いたしましたものから現時点での修正はございません。今後の動向を踏まえ、修正の必要性が生じた場合は、速やかに開示いたします。

（業績予想について）

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以上